

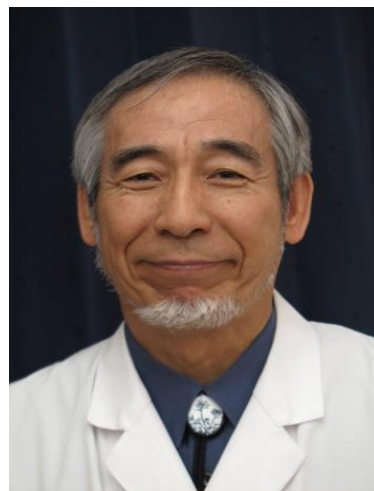
『もの忘れ外来』とかかりつけ医師との連携

講演と学習会

令和4年10月2日(日)

13:30~15:30

人生100歳時代、認知症になる高齢者も増えていきます。やさしいまちづくりで、本人も家族も地域で安心して生活ができる社会を目指し、埼玉県は全国に先駆けて、ケアラー支援条例を施行。加齢とともに、もの忘れや言葉が出にくくなった時など、内心は心配=もの忘れ? 『もの忘れ外来』の門をたたくのは躊躇されますね! かかりつけのお医者さんが相談に乗ってくれたら・気軽に会話ができて・家族も付き添い易いので、早期診断・早期対応で他の病気も含めて相談が速やかに・・・を目指して。みんなでご一緒に学びましょう。



おおばとしあき
大場敏明院長

講師 **大場敏明院長**

クリニックふれあい早稲田

会場 **朝霞市中央公民館** **オンライン参加可能です**

定員 **50人**(市民・関連専門職の方) **300円** 資料代 会場参加者のみ

申込み **(先着順)** ☎048-468-6972 FAX048-468-7088

会場
著者
特別
価格

続・「ともに歩む認知症医療とケア」

かかりつけ医による

『もの忘れ外来』

のすすめ 大場敏明
高杉春代



本書を推薦します! 本間 昭

今年の3月に改正道路交通法が施行され、75歳講習時の認知機能検査において一定の点数以下では認知症の疑いの診断が求められることになりました。専門医だけでなく、かかりつけ医も一定の役割を担わねばならないのです。この機会に、『もの忘れ外来』を通じてかかりつけ医と患者さんとの関係が深まることがないでしょうか。しかし、どこから、どのように助けを求めればいいのか悩んでしまう方もいらっしゃるかもしれません。本書では、かかりつけ医が地域で『もの忘れ外来』を始め、一定の成果をあげ

(H29/8) 現代書林

「地域包括ケア時代」到来!

ともに歩む
認知症医療と
ケア



医療・ケア・地域(家族)のトライアングルだからうまくいく。患者さんと家族が笑顔になれる。認知症への取り組みを紹介。

前期段階から始める効果的なケアの使いこなし。患者さんへの接し方、医師の仕事から、主要なグループホーム運営、地域でのネットワーク形成の手法。「自分さ、市民の

(H27/2) 現代書林

オンライン参加の方



申込みは、お名前・住居都市・メールアドレスをご記入の上メール(上記QRコードより)をお願いいたします。

主催
共催

認定・埼玉県指定NPO法人 **メイあさかセンター**



あさか介護者サロン「ほっとの会」

後援

朝霞市 一般社団法人朝霞地区医師会 一般社団法人朝霞地区歯科医師会
社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会 朝霞市リハビリテーション専門職の会
朝霞いきいきネットワーク 若年性認知症ライゼの会